

2026年5月29日

味の素(株)、 「Dow Jones Best-in-Class World Index」 構成銘柄に12年連続で選定

味の素株式会社(社長：中村 茂雄 本社：東京都中央区)は、世界的なESG株価指数である「Dow Jones Best-in-Class Indices[※](以下「DJBIC」)」の「World Index(以下「DJBIC World」)」の構成銘柄に12年連続で選定されました。

※2025年2月にDow Jones Sustainability Indices(DJSI)から名称変更

DJBIC Worldは、米国のS&P Global社がコーポレート・サステナビリティ評価(CSA)を通じて選定した、世界のサステナビリティ先進企業で構成される指数です。世界の主要企業をガバナンス・経済、環境、社会の側面から分析・評価し、2026年は、世界のグローバル主要企業2,500社の中で、上位10%がDJBIC Worldに選定されました。なお、当社はアジア・太平洋地域の企業で構成される「DJBIC Asia Pacific Index」銘柄にも、16年連続で選定されました。

当社は、ガバナンス・経済側面での「透明性とレポーティング」「マテリアリティ」「リスク危機管理」、環境側面での「気候戦略」「廃棄物と汚染物質」「水」「エネルギー」、社会側面での「労働安全衛生」「健康と栄養」「人的資本マネジメント」「労働慣行」などの評価項目において特に高い評価を獲得しました。当社グループのこれまでのサステナビリティに関する取り組みや透明性の高い情報開示が、今回の評価につながったと考えています。

当社グループでは「アミノサイエンス[®]で人・社会・地球のWell-beingに貢献する」を志(パーパス)として、2030年までに10億人の健康寿命を延伸し、環境負荷を50%削減するというアウトカムを目標として掲げています。志(パーパス)を実現する取り組みとして、事業を通じた社会価値と経済価値の共創を図るASV(Ajinomoto Group Creating Shared Value)経営を進化させ、ASV経営を実現するガバナンス体制のもとで、ネガティブインパクトの低減とポジティブインパクトの創出拡大を進め、飛躍的・継続的に企業価値を向上させていきます。

参 考

味の素グループのサステナビリティ紹介サイト

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/>

味の素グループのサステナビリティに関する外部評価紹介サイト

[外部からの評価 | サステナビリティ | 味の素株式会社](#)

味の素株式会社・味の素グループの詳細：[味の素株式会社 ~Eat Well, Live Well.~](#)

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)